

18 しろい七福神めぐりコース

●距離：21.8km
●歩数：36,335歩



- ①白井市役所 1.4km / 2,334歩
- ②長楽寺(七次) 3.0km / 5,000歩
- ③来迎寺(折立) 1.2km / 2,000歩
- ④西輪寺(富塚) 6.0km / 10,000歩
- ⑤延命寺(平塚)
- ⑥薬王寺(清戸) 4.5km / 7,500歩
- ⑦秋本寺(白井) 2.9km / 4,834歩
- ⑧佛法寺(法目) 1.9km / 3,167歩
- ⑨白井市役所 900m / 1,500歩

七福神めぐりは室町時代から今日まで庶民信仰として親しまれていますが、白井市ではしろい七福神霊場会が市の新しい名所としてお祀りしました。市内7ヶ所のお寺に1体ずつ祀られた大黒天・福祿寿・弁財天・毘沙門天・恵比寿神・寿老人・布袋尊の7体の神様を、縁日である正月1日から7日と毎月7日に巡拝します。御朱印の受付時間は午前9時～午後4時で、巡拝することによって7つの幸福が授かるといわれています。



②長楽寺 (恵比寿神)
天台宗の寺院で、文明年間(1469～1486年)の開基とされます。現在の本堂は昭和50年に建て替えられたもので、本尊の阿弥陀如来立像は市指定文化財です。

③来迎寺 (布袋尊)
天台宗の寺院で、承久年間(1219～1221年)の開基とされます。本尊の阿弥陀如来の外に市指定文化財の阿弥陀如来、毘沙門天、不動明王、閻魔王、奪衣婆の5体の仏像があります。

④西輪寺 (福祿寿)
天台宗の寺院で、文禄2年(1593年)に相馬治少輔平胤吉が海東八郎延高と急雨丸延乗の菩提を弔ったことが開基とされています。

⑤延命寺 (大黒天)
真言宗の寺院で、地蔵菩薩を本尊とし、寺伝では寛弘2年(1005年)の開基とされます。境内には県指定文化財の観音堂や多数の石造物があります。

⑥薬王寺 (弁財天)
寺伝によると大同年間(806～809年)の開基とされ、阿弥陀如来を本尊とします。清戸の泉の伝説にまつわる版木が保管されています。

⑦秋本寺 (毘沙門天)
日蓮宗の寺院で、寺伝によると嘉元元年(1303年)の開基とされます。本尊は釈迦如来で、現在の本堂は昭和50年に再建されたものです。

⑧佛法寺 (寿老人)
天台宗の寺院で、江戸時代以前はるか古えのころの開基とされます。阿弥陀如来を本尊とし、市内で2番目に古い安永2年(1773年)銘の梵鐘があります。